

エイジフレンドリー補助金活用事例③ ～入浴介助時の負担軽減のための機器～

業種

医療・福祉

労働者数（60歳以上）

約50名（60歳以上2名）

厚生労働省



東京労働局

活用した補助金の概要

利用コース：職場環境改善コース
対策内容：入浴介助の際の身体的負担を軽減する機器
補助金額：対象費用の76万7500円
（対象費用の1/2）

補助金活用の経緯

浴槽を跨げない利用者もあり、職員の入浴介助の負担を軽減するため補助金を活用して導入することを検討、出入り業者より補助金の情報を受け、職場環境改善コースを選定

R7.8

補助金を把握

R7.9

補助金申請

R7.9

交付決定

R7.9

業者に発注

R7.12

リフトキャリーを現場に導入

R8.1

補助金振込

補助金を活用した対策の内容

入浴時の介助作業



自力では浴室に入れない利用者を、中腰姿勢でサポート。車椅子から浴室への入力介助は、大きな負担となっていた。

労働者からの声

- ・ 移乗の回数が減り、腰等への負担が軽減された。
- ・ リフトアップにより身体を洗う際の姿勢等の負担も少なくなった。
- ・ 利用者も安心して入浴できるようになり、精神的にも負担が軽くなった。

リフトキャリーの導入により、人力での移乗等が減少



浴室横まで運ぶ



座椅子をスライド

一連のリフトキャリーにより、利用者の立位、座位等の支えながらの介助作業をなくすことができる。



ボタンで上下

対策を行ってからの効果

- ・ 移乗が少ない分、作業時間も短縮され、職員の負担軽減を実感している。
- ・ 利用者がリフト浴に向けてリハビリに励むようになる等の効果も生まれ、導入の効果を感じている。

補助金を活用した感想・意見

見積書と発注者が必要となり、若干の手間はあったが、助成金があることでリフトキャリーの導入を決めることができた。

エイジフレンドリー補助金を積極的に活用し、働く高年齢者の対策を進めてください！